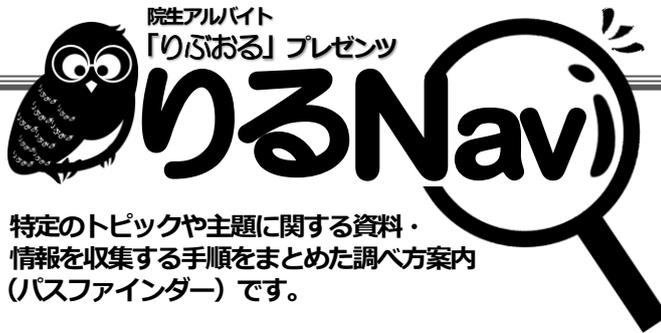


# 日本文学

Japanese Literature



特定のトピックや主題に関する資料・  
情報を収集する手順をまとめた調べ方案内  
(パスファインダー)です。

りるNavi  
Ritssho University  
Library Learning Navigation

りぶおる  
学生アルバイト「りぶたま(Librarianの卵)」  
から発展した院生アルバイトの名称。  
知の象徴である鳥(Owl)から派生して  
名付けました。知識や知恵を集結させ  
て生かしていく姿が、大学院生たちの  
精鋭さを表しています。

## 日本文学とは

日本人によって日本語で書かれた文学作品の総称。日本文学は上代(奈良時代)、中古(平安時代)、中世(鎌倉時代、南北朝時代、室町時代)、近世(安土桃山時代、江戸時代)、近代(明治時代以後)の5期に分けられる。なお上代、中古を合せて古代とする説、安土桃山時代を中世とする説、近代を明治・大正期として昭和以降を現代とする説などその他多数の説がある。形態としては、詩歌(歌謡、和歌、連歌、俳諧、漢詩、詩ほか)、小説(説話、物語、御伽草子、浮世草子、草双紙など)、戯曲(能、狂言、浄瑠璃、歌舞伎ほか)、日記、随筆、評論に分けることができる。

美的理念としては「まこと」のほか、上代では「清(きよし)」「明(あかし)」、中古では「あはれ(→あわれ)」「をかし(→おかし)」「長(たけ)高し」、中世では「幽玄」「有心(うしん)」「無心」、近世では「わび」「さび」「かるみ」「滑稽」「いき」「通」や勸善懲惡思想、近代では写実主義、浪漫主義、古典主義その他があげられる。(ブリタニカ・オンライン・ジャパンより引用)

## 分類 (NDC9版)

図書館の書架を調べる際は、次の分類を中心に探すとよい。

分類番号	分野
910	日本文学
911	詩歌
912	戯曲
913	小説・物語
914	評論・エッセイ・随筆

分類番号	分野
915	日記・書簡・紀行
916	記録・手記・ルポルタージュ
917	箴言・アフォリズム・寸言
918	作品集：全集・選集
919	漢詩文・日本漢文学

## 辞典・事典

以下【 】内は立正大学図書館における請求記号と所在を示す。

- 『日本古典文学大事典』【910.3/O-78 品川2F参考図書】 大曾根章介【ほか】編、明治書院、1998  
上代から近世までの日本古典文学を中心に、約8,000項目を解説しており、それぞれの項目に出典がある。付録として「日本文学年表」が掲載されている。
- 『日本現代文学大事典』【作品篇：910.26/Mi91/S 人名・事項篇：910.26/Mi91/J 品川2F参考図書】  
三好行雄【ほか】編、明治書院、1994  
小説を中心とした近・現代の日本文学を、作品篇と人名・事項篇に分けて解説している。
- 『日本国語大辞典』精選版【813.1/Sh95/1~3 品川2F参考図書】  
小学館国語辞典編集部編、小学館、2006  
現代語から古典文学に登場する人物・用語まで、あらゆる日本語が掲載されている。
- 『日本語学研究事典』【810.3/H 54 品川2F参考図書】 飛田良文【ほか】編、明治書院、2007  
文法、古典、文学史、小説など日本文学全体にわたる項目を網羅した事典。人物の項目では「経歴」、「主要作品」など小項目にまとめられた解説と、その項目に関連する参考文献が掲載されている。

- 『岩波新漢語辞典』第3版 [813.2/Y 24 品川 2F 参考図書] 山口明穂 [ほか] 編, 岩波書店, 2014  
音訓索引、総画索引、部首索引など多様な索引があるため、状況に適した検索方法を選ぶことができる。  
漢語概説や人名用漢字一覧など、付録も充実している。

## 入門書

- 『日本文学の論じ方：体系的 연구法』 [910.7/Su96 品川 2F 学修支援 (日文) /品川 B1 図書] 鈴木貞美著, 世界思想社, 2014  
論文の書き方から文学研究について、その問題点や方法まで、ひとつひとつの考察を着実に進め、体系的に理解する方法を伝授する、未来の日本近現代文学研究者への「知」のバトン。
- 『古典注釈入門：歴史と技法』 [910.7/Su96 品川 B1 図書] 鈴木健一著, 岩波書店, 2014  
常に人々は注釈を通して古典と向き合ってきた。その変遷を辿り、古典の受容のあり方を問い直す。
- 『日本古代文学入門』 [910.23/Mi67 品川 B1 図書] 三浦佑之著, 幻冬舎, 2006  
読みやすく、面白く、スリリングでありながらも、古典の深みに降りてゆくための手がかりとなる入門書。読めば7、8世紀の古典の世界を身近に感じられるはず。
- 『日本文学史』 [910.2/Ku14 品川 B1 図書/品川 B2 図書] 久保田淳編, おうふう, 1997  
現代に至るまでの日本文学を上代、中古、中世、近世、近代と5つの時代分けをして解説している。細かく節分けもされており、読みたい箇所が見つけやすい。巻末の「日本文学史年表」は文学史の事項と合わせて、世の中の出來事、作者の生没も一目で見ることができる。

## 雑誌

- 『立正大學國語國文』 [R-1/28 品川 B3 紀要 (新刊は3F 立正大学紀要コーナー)] 立正大学国語国文学会  
立正大学文学部文学科日本語日本文学専攻コースの教員などからなる、立正大学国語国文学会が発行。1959年創刊以後、ほぼ毎年1冊ずつ発行され、現在も継続中。教員らの論文が掲載されている。
- 『日本文学』 [910.5/51 品川 B3 雑誌 (新刊は3F 開架雑誌コーナー)] 日本文学協会  
日本文学協会の機関誌。月刊。日本文学と国語教育に関わる論文、報告、エッセイ等が掲載されている。会員であれば論文の投稿が可能。(http://nihonbungaku.server-shared.com/)
- 『文学・語学』 [910.5/B 89 品川保存文学] 全国大学国語国文学会  
1978年から4月、8月、12月と原則年3回刊行している。国語学、国文学、国語教育、日本の言語文化の研究、教育の関心など、専門分野を超えたテーマが掲載されている。会員であれば論文の投稿が可能。(https://zenkoku-sjll.org/) れている。

## インターネット 学会サイト等

- 『日本文学 Internet Guide』 <https://soamano.wixsite.com/nihonbungaku/>  
国文学研究のための学会情報や、本を検索するのに便利なデータベースをわかりやすくまとめたリンク集が掲載されている。
- 『国文学研究資料館』 <https://www.nijl.ac.jp/>  
「電子資料館」のページに日本の古典籍の総合目録など多様なデータベースがある。また、「研究活動」からその施設で専門に研究している人や執筆された本などを調べることもできる。